

令和7年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

もろおか しん
諸岡 伸 （60歳） 三重県立四日市高等学校長

- ・公立高等学校教諭として国語科教育の推進に尽力した。また、日本語指導教員として中華人民共和国の河南師範大学に派遣され、将来の日本と中華人民共和国の懸け橋となる学生の育成に尽力した。
- ・三重県教育委員会事務局高校教育課長として、少子化の進行、グローバル化や情報化の進展、産業構造や雇用環境の変化など高校教育を取り巻く環境が変化する中、高校の特色化・魅力化を図り、地域から信頼される学校づくりを進めた。
- ・三重県教育委員会事務局次長として、次期教育ビジョンや特別支援教育推進計画の策定、いじめ防止対策、教育施策大綱の策定に携わり、活発に議論を進めた。また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた学校教育の推進についても、感染症対策を徹底するとともに、オンライン教育に向けた環境整備等にも尽力した。
- ・公立高等学校長として、四日市高等学校では、スーパーサイエンスハイスクール事業等を活用して、生徒の「自主・自律の精神」「前向きな姿勢」「広い視野と創造性」を育み、国際社会で活躍し、世界を牽引する科学技術系人材の育成に向けて、県内の理数教育を牽引するなど、同校の更なる発展に貢献した。
- ・三重県立学校長会長、副会長、会計、監事として同会の運営に尽力した。

令和7年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

いちもり さちこ
市森 幸子（58歳） 四日市市立塩浜中学校長

- ・公立中学校教諭として、全校の家庭科授業、生徒会、研修や教育相談、特別支援教育コーディネータ等の校務分掌を担当した。三泗教育研究協議会中学校家庭科の会長も経験し、会の発展に尽力した。
- ・四日市市教育委員会教育支援課適応指導教室指導員、同課指導主事として、不登校児童生徒の支援に5年間関わった。スクールカウンセラーの効果的な活用を提案するなど、心理職と教職をつなぐことを意識した働きかけを行った。
- ・四日市市立羽津中学校教頭として、「チーム学校」の支援体制の充実を図るため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを効果的に活用できるようマネジメントを行った。特に、スクールソーシャルワーカーが初めて中学校区に配置され、勤務校が拠点校となっていたことから、小学校と中学校での情報共有やケース会議を設定するなど、支援体制づくりに努めた。
- ・公立中学校長として、四日市市立富田中学校、四日市市立塩浜中学校に赴任し、一人ひとりに応じた指導・支援の充実のため、特別支援教育の視点をもって、積極的に外部の専門機関につなぎ、校内の専門家を効果的に活用することを意識して取り組んでいる。
- ・三重県小中学校長会副会長、中学校部会長として、県内中学校教育の課題解決に向けたリーダーシップを発揮し、教職員育成と学校経営の充実に大きく寄与している。

令和7年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

むらい きよみ
村井 清美（59歳） 松阪市立粥見小学校長

- ・公立中学校教諭として、理科の指導方法の研究と実践に取り組むとともに、それぞれの赴任校で職員の中心的存在となり、校内研修の推進に努めた。また、生徒指導においても、生徒や保護者との関係づくりを大切にし、情熱をもって実践を重ねた。誠実な人柄による指導は、生徒や保護者、同僚から大きな信頼を得た。
- ・松阪市立港小学校、および粥見小学校教頭として、豊富な経験と確かな実践力で校長をサポートするとともに、教職員の指導力の向上に力を発揮した。また、積極的に地域の行事に参加し地域住民と深く関わるとともに、保護者や地域の様子から児童の具体的な生活状況を把握し、地域教育力の充実及び生徒の豊かな心を育む教育の推進に傾注した。教頭としての責務を十分に果たすことになった。
- ・公立小学校長として、松阪市立第三小学校、松阪市立粥見小学校に赴任し、地域や保護者との対話を大切にしたい信頼される学校づくりに力を注いでいる。粥見小学校では、小規模校の利点を生かし、個を大切にする教育や特別活動の取り組みを進め、生き生きと活動をおこなう児童を育てあげている。
- ・三重県公立小・中学校女性校長教頭会の会長を務め、県内の小中学校女性校長・教頭の中心的存在となり、よりよい学校教育の創造をめざした学校運営の推進などに取り組んでいる。

令和7年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

たかぎ よしなり 高木 義成（60歳） 学校法人 四日市メリノール学院 四日市メリノール学院中学校・高等学校長
・四日市メリノール学院中学校・高等学校で英語科教育のさらなる向上に尽力した。 ・四日市メリノール学院中学校・高等学校就任以来、進路指導部長として、大学や専門学校との連携を深め、生徒の進路希望の実現に大きな成果を上げた。 ・校長に昇任し、学校運営に携わると、生徒数の減少による経営難にあって学校の再建と魅力化に卓越した手腕を発揮し、共学化や入試改革など学校改革を実施し、学校の安定した経営に大きく貢献した。 ・子ども達に多様な学びの場を提供するため、高等学校に通信制課程を併設し、登校しづらい子ども達を支援するとともに、生徒一人ひとりに合った学習を行うことで、学力向上や進路保障に成果を上げた。 ・校長として三重県私学協会理事に就任後現在に至るまで12年間以上、初任者研修中京地区指導者として、愛知県、岐阜県の校長等とともに、新規採用となった中京地区全体の教職員の指導を行ってきた。 ・三重県私学協会の定数・入試委員会の委員長及び公私立高等学校協議会委員として重責を担い、三重県全体の公私立高等学校の募集定員総数の決定や、県内私立学校の円滑な入試の実施に誠心誠意尽力している。

（年齢はそれぞれ令和7年12月3日現在）